

# 東川町における地域公共交通活性化・再生総合事業(計画事業最終年度)

## 東川町地域公共交通総合連携計画の目標

- ・ 町民の移動の足を守る。
- ・ 観光交流の活性化を図る。
- ・ バス利用の付加価値を高める。

## 平成23年度総合事業計画の概要

### 1) 町営バスの実証運行

- ・ 運行期間：平成23年4月～平成24年3月
- ・ 運行路線：現行の3路線  
(東忠別線、北忠別線、東雲・上岐登牛線)
- ・ 便数：平日・土曜日：3路線 5便/日
- ・ 起終点：道草館
- ・ 運賃：1乗車につき大人150円、子供70円
- ・ 運行事業者：東川町

### 2) 乗合タクシーの実証運行

- ・ 運行期間：平成23年4月～平成24年3月
- ・ 運行路線：1路線  
(東川町内)
- ・ 便数：平日・土曜日：6便/日
- ・ 起終点：道草館
- ・ 運賃：1乗車につき大人150円、子供70円
- ・ 運行事業者：東交ハイヤー

## 東川町地域公共交通活性化協議会開催状況

- 平成23年2月21日 第9回協議会開催
- ・ 平成22年度 事業実績・会計決算報告
  - ・ 平成23年度 事業計画について
  - ・ 平成23年度 当初予算設計について

### 3) ニュースレタ - - の発行

東川町地域公共交通活性化協議会発行

平成23年9月号

東川町の交通ニュース

乗合タクシーのご利用方法

○利用には事前登録が必要です。

○利用希望便を前日までに東交ハイヤーに予約いただければ、自宅の近くの道路までお迎えに伺います。

○中央市街地区域の方は、指定された場所での乗降となります。

○当日予約をご希望の方は、条件付で発車1時間前までの予約を受け付けます。(1便除く。)

★条件付とは、

- ・ 前日の配車台数の定員数が残っている場合。
- ・ 前日予定している便の運行ルートに支障がない場合(約5分)但し、運行可能な場合がありますので、お問い合わせください。

申込先：東交ハイヤー電話：82-2530、FAX：82-2505

受付時間：前日の9時～19時まで

(当日予約は1便を除き、3～11便は7時から受け付けます。)

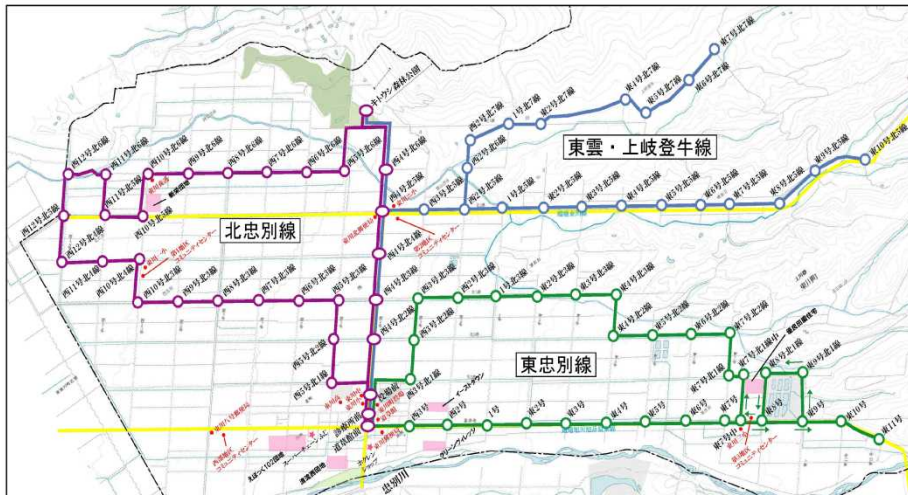
乗合タクシー発車時刻表(道草館発)1便：7:05、3便：9:05、4便：10:50、5便：13:00、6便：14:55、11便：19:55

## 平成23年度事業の実施状況

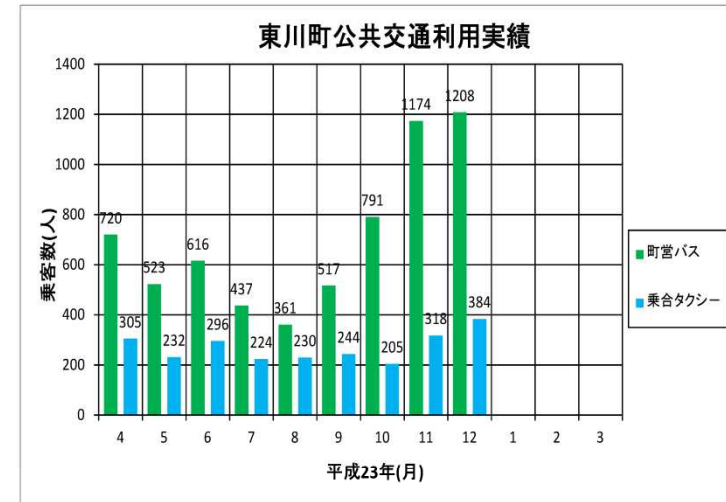
### 1) プロセス、創意工夫

- ・町民ニーズに合ったバスダイヤの見直しと新規住宅街等を考慮した運行路線の変更を行った。
- ・平成22年度の実証実験を踏まえ、乗合タクシー・予約方法等の改善を図るとともに利用者ニーズにあった継続可能な運行システムを構築した。
- ・多様化する観光タイプに対応した利用しやすい交通機関を整備するため、観光客の利用動向・ニーズの把握を検討し、いで湯号の運行路線の変更(旭川空港経由)を行った。

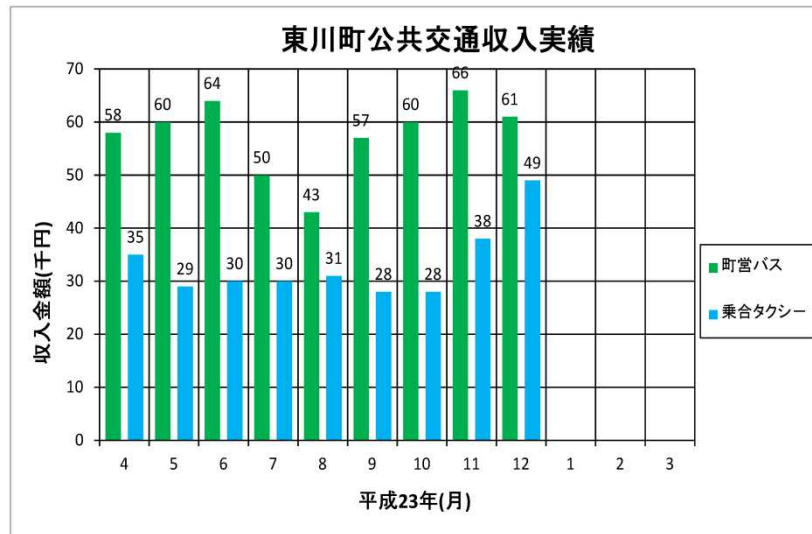
### 2) 運行ルート



### 3) 利用実績



#### 4) 収入実績



#### 5) 事業実施効果

- ・学生の下校時間(17時台)に合わせた1便を増便した。これにより、登下校の不便さが解消された。
- ・乗合タクシーについて、利用者ニ・ズの運行システムを実施した。これにより、利用者への利便性が高くなり、公共交通として定着しつつある。
- ・観光客の利用動向・ニ・ズの把握を検討した。これにより、いで湯号(旭川電気軌道運行)の運行路線を変更した。これにより、乗客数の増加を図った。

#### 6) 今後の課題

- ・乗合タクシーの自主運行に向けての予約方法や配車方法などを検討するとともに、使いやすい運行システムに改善していく。
- ・受益者負担として納得できるバス運賃、デマンドバス運賃を検討し、実施する。
- ・車体広告などの運行収支の向上を図る収益事業を検討し、実施する。
- ・周辺自治体や関係企業、教育機関などとの提携や連携を模索し、負担の分散や人的、物的協力を要請し、実施する。

#### 自己評価のポイント

- ・バス運行5便・デマンド運行6便を継続運行し、利用者調査の実施・分析も踏まえ、当該バス(デマンド)事業は適切な事業と判断され、本格運行への合意が図られた。
- ・デマンド運行に係る経費については、地域公共交通確保維持改善事業を活用した国費及び町からの補助金によることで協議が整った。
- ・地域関係者に対しては、広報による掲載及び自治振興会等での説明会を開催し、十分な周知をすることで実質的な合意形成が行われた。
- ・デマンド本格運行に向けて、利用者からの要望も踏まえた更に使いやすい運行システムにするための検証が必要である。

#### 二次評価のポイント

- ・自己評価のとおり。
- ・実証運行を続けてきたデマンド運行については本格稼働への移行が合意され、自立性・持続性を考慮し、地域に適した交通体系が構築された。